

内部監査員教育の取り組み

1. オンライン教育で広がるコミュニケーション

2024年5月9日と10日、全社から39名が参加し、品質・環境内部監査員集合研修をオンラインで行いました。

Webによる各事業所間のリアルタイム開催も5年目を迎え、事務局である品質保証部と参加者とのコミュニケーションがより活発になったと感じています。

2. 体験を交えた研修で監査員のスキルを学ぶ

参加者は、事務局が作成したオンデマンド用の音声付きの動画教材を事前に学習し、その上で集合研修に参加しました。研修当日は、架空の会社の監査チームの質疑応答状況を描いたケーススタディを用い、内部監査員としての視点からの是正や改善、良好事例などを討議しました。

また、模擬監査として監査チーム役と被監査部門役を交代しながら、内部監査の流れをロールプレイングで体験しました。模擬監査は、被監査部門役の代表者に、実際の業務で使用している記録帳票を準備してもらい、実際の監査に近い状況で訓練を行いました。

さらに、事務局からのケーススタディ模範解答の解説や模擬監査の所見報告発表後の講評を通じて、参加者の力量向上を図りました。

3. 環境負荷軽減と効率的な教育の両立

Web開催による参加者の移動時間の無駄削減や、オンデマンド用教材による紙媒体教材の印刷と配布廃止の取り組みは、効率的な教育の提供だけでなく、環境負荷の軽減にも寄与しています。

IPSは、環境マネジメントシステムの継続的な改善を目指し、内部監査員の育成と力量向上に取り組んでいます。

今後も、オンライン教育や実践的な研修を通じて、効率的かつ環境に配慮した教育を推進し、内部監査の質を高める活動を継続してまいります。



内部監査員教育の様子